

=2024年=

## 新年のご挨拶

一般社団法人 日本配電制御システム工業会  
会長 宇賀神 清孝

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

年頭にあたり、平素より当会にお寄せ頂いております皆様方の温かいご指導とご支援に対し心から御礼申し上げます。

さて、国内経済の先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されています。また、コロナ禍で抑制されていた老朽設備の更新投資を中心に企業の投資意欲は底堅く、昨今重要性が高まっている研究開発投資やデジタル・トランスフォーメーション（DX）推進をはじめとした情報化投資やEコマースの拡大を背景とした物流施設などの建設投資の増加が見込まれています。

一方、業界を取り巻く問題では、2021年から顕著となった電用品等の納期長期化が続いています。全体的には改善傾向にありますが、インバータ等では未だ納期が1年以上となっているものもあり、盤製品の計画的な生産が難しい状況は完全には解消されていません。また、電用品等の値上がりや原材料、電気・ガスなどのエネルギー価格の高騰も続いています。

加えて、本年4月にはこれまで猶予されてきた建設業・物流業への時間外労働の上限制限の適用が開始されます。所謂2024年問題ですが、既に盤製品の輸送を担っている物流業では影響が出始めており、これまでのような対応が難しくなることが予想されます。

かかる状況下、当会では所轄官庁をはじめ各関係先に対して現状を説明するとともに協力を要請してまいりました。

製品納期長期化、製品価格の見直し、2024年問題への対応等、各種課題解決に向けた一連の活動については、当会のホームページで逐次情報を発信しています。

当会では、引続き課題解決に向けて積極的に取り組んでまいりますので、皆様方にはこれまで以上のご理解とご協力を賜ります様お願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健康とご多幸をお祈りしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。